

BPO021-03

会場: 301B

時間: 5月25日09:30-09:45

美濃帯の遠洋性チャートに記録されたトリアス紀新世天体衝突イベント

Stratigraphic record of Late Triassic bolide impact event in pelagic chert from Japan

佐藤 峰南^{1*}, 尾上 哲治¹

Honami Sato^{1*}, Tetsuji Onoue¹

¹鹿児島大学

¹Kagoshima University

美濃帯の遠洋性チャートから天体衝突により形成されたと考えられるNiに富むスピネル類を大量に発見した。調査地域は、岐阜県木曾川流域の犬山地域である。みつかった粒子はチャートの単層間に挟まれた粘土層に濃集してみられる。SEM-EDXによる分析では、スピネル類の組成はFeに強いピークを持ち、その他Al, Cr, Niを含むことが明らかになった。また、EPMAによる化学組成分析では、Niを最大3.15 wt%含むことが明らかになった。このような高いNi含有量をもつスピネル類は、K-T境界の粘土層からも報告されている。美濃帯で見つかったNiに富むスピネル類は、微化石年代がトリアス紀後期であることから、この時代から知られているマニコーガンクレーター（直径100 km）などを形成した連鎖クレーター（約214 Ma）に由来する可能性がある。